

会 告

社団法人 土 木 学 会

行事案内	月 日	行 事 名	場 所	備 考
本 部	2月18日(金) ～19日(土)	第10回水理講演会	土木学会	12号6ページ参照
	5月27日(金)	第52回通常総会	札幌市	12号3 "
	5月28日(土)	総合講演会	同	12号3 "
	5月28日(土)	懇親会	同	12号3 "
	5月28日(土)	} 年次学術講演会	同	12号3 "
	5月29日(日)			
	5月29日(日) ～31日(火)	見学会	北海道各地	12号3 "
東北支部	1月21日(金)	技術講座	盛岡市	12号6 "
関西支部	12月15日(水) ～16日(木)	耐震設計講習会	大阪市	11号9 "
	1月18日(火)	海外事情講演会	大阪市	12号7 "
	1月18日(火)	会員懇親会	大阪市	12号7 "
	1月20日(木)	シールド工法講演会	大阪市	12号7 "
西部支部	1月28日(金)	昭和40年支部総会および研究発表会	福岡市	12号8 "
その他	4月19日(火) ～21日(木)	第3回理工学における同位元素研究発表会	東京	12号4 "
お知らせ	■ 研究発表会・論文・報文募集(北海道支部)			11号7 "
	■ 第2回「国土開発映画コンクール」作品募集			12号1 "
	■ 昭和40年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集			12号2 "
	■ 第3回理工学における同位元素研究発表会論文募集			12号4 "
	■ 日本地震工学シンポジウム(1966年)開催と発表論文の募集			12号5 "
	■ 国際大ダム会議第9回大会へ論文または報文提出について			12号6 "
	■ 昭和41年度科学研究費補助金の公募について			12号8 "
	■ 8学会互報欄			12号8 "
■ 国際会議のお知らせ			12号8 "	

第2回「国土開発映画コンクール」作品募集

土木学会は昭和39年秋、創立50周年を記念して「国土開発映画コンクール」を開催いたしました。この実績にかんがみて、今後隔年に映画コンクールを開催し、もって最近の土木技術発展のあゆみを、視聴覚によって、広くPRせんとするものであります。「第2回国土開発映画コンクール」作品をつぎによって募集いたします。ふるって応募のほどお願いいたします。なお、優秀作品は、当学会「建設技術フィルム・ライブラリー」として活用をはかる予定であります。

第2回国土開発映画コンクール要領

1. 内 容：国土開発に関し、土木技術を主とした映画
2. 規 格：16mm カラートーキー（上映時間20分以上）
3. 審 査：土木学会映画審査委員会
4. 賞 状：1等 1編 2等 2編 3等 3編 おのおの賞状ならびに賞牌
5. 発 表：1966年11月24日（土木学会創立記念日）
6. 締 切：1966年9月30日
7. 申 込 先：土木学会事業課あて

昭和 40 年度土木学会賞候補ならびに吉田研究奨励金候補の募集

昭和 40 年 10 月

社団法人 土 木 学 会

本年度土木学会賞候補の募集ならびに吉田研究奨励金候補の募集をいたします。募集要項をご参照のうえふるって推薦または応募されますようお願いいたします。

(注) 本年度から表彰制度の改正により、土木学会賞として功績賞、技術賞、論文賞、吉田賞の4賞の表彰を行なうことになりました。

ただし、功績賞については公募いたしませんので別途関係者に推薦方を依頼します。

◎土木学会賞候補募集要項

種別 項目	技 術 賞	論 文 賞	吉 田 賞
候補 対 象	土木事業の計画、設計、施工等に関し、土木技術の進展に顕著な貢献をなした画期的な総合的業績、もしくは一部の業績 (例) ○○ 事業の総合技術 △△ 事業の施工 □□ に関する考案	(論文賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に独創的な業績をあげ、顕著な貢献をなしたものの。 (論文奨励賞) 土木学会誌、論文集、その他の刊行物に研究、計画、設計、施工、考案などに関する論文を発表し、これが土木工学における学術、技術の進歩発展に寄与し、独創性と将来性に富むもので受賞者の年齢が原則として 35 才未満であるもの	コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する優秀な研究、工事等を行なったと認められたものに授与し、その業績が土木学会の刊行物、コンクリートに関する学・協会の刊行物、その他これに類似の刊行物に研究論文、設計・施工・考案などの報告、またはそれらの要旨が掲載されたものの中から選ばれる。
受賞候補者	個人または団体	本会の個人会員に限る。 過去の土木賞受賞者は既受賞者とし、重ねて同一の賞の候補者となることはできない。共著者(共同研究者)の中に非会員、既受賞者、その他受賞候補者となることできないものが含まれていることはさしつかえないが、受賞候補者に加えすることはできない。	日本に国籍を有する個人または研究グループ。 ただし、原則としてすでに吉田賞を授与されたものを除く。
候補の 開	昭和 39 年 1 月 1 日から昭和 40 年 12 月 31 日までの間にできた業績であって、日本国内において実施されたものに限る。	昭和 39 年 1 月 1 日から昭和 40 年 12 月 31 日までの間に発表されたもので、土木学会誌、論文集、その他土木学会の刊行物に登載されたものその他、他学・協会、大学、官庁、会社などの刊行物に登載されたものなど内容審査に必要な資料の揃っているものに限る。	
推薦(応募)の 方法	会員、支部、土木事業に関連する学・協会、法人の推薦により別に定める様式による推薦書、候補業績要旨各一部を提出する。 なお、当該業績に関する参考資料を添付することは妨げない。 (推薦書および関係用紙は土木学会本部または各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)	会員、支部、その他一般の推薦または会員自らの応募により別に定める様式による推薦書1部を提出する。候補論文が土木学会誌、論文集以外に発表されている場合は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料6部と別に定める様式による候補論文要旨1部を提出しなければならない。	会員、支部その他一般の推薦により、別に定める様式による推薦書1部を提出する。土木学会誌、論文集以外に発表された候補論文は推薦書に添えて本文および審査に必要な資料30部を提出しなければならない。
審査	表彰委員会において行なう。ただし審査の途上において推薦者またはその代理人に出席を求め説明をけることがある。	論文賞選考委員会において行なう。なお必要あるときはさらに資料30部の追加提出を求めることがある。	吉田賞選考委員会において行なう。
表彰	第52回通常総会において行ない、賞牌、賞状を贈る。	第52回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。	第52回通常総会において賞牌、賞状、賞金を贈る。
締切 期日	昭和 41 年 1 月 20 日		
提出 先	東京都新宿区四谷1丁目 社団法人土木学会表彰委員会	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会論文賞選考委員会	東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

◎吉田研究奨励金候補募集要項

- 候補対象：コンクリートおよび鉄筋コンクリートならびにこれらに関連する研究に従事するもので特に独創性と将来性に富むと認められたもの。ただし、原則として同一研究計画に対してすでに吉田研究奨励金を授与されたものを除く。
- 募集の方法：日本に国籍を有する個人または研究グループの応募による。
- 研究成果の報告：研究成果は文書により吉田賞選考委員会に提出するほか昭和 42 年 5 月下旬施行の第 22 回年次学術講演会において吉田研究奨励金を授与された研究であることを明らかにして発表しなければならない。
- 応募の方法：一定の様式による研究計画1部を提出する。
(計画書用紙は土木学会本部および各支部に準備してありますから必ずその用紙を使用して下さい)
- 審査：吉田賞選考委員会において行なう。
- 締切期日：昭和 41 年 1 月 20 日
- 提出先：東京都新宿区四谷1丁目 土木学会吉田賞選考委員会

第 52 回通常総会および第 21 回年次学術講演会

昭和 41 年度通常総会および年次学術講演会は、つぎの日程で、札幌市において開催いたします。

学術講演会の実施要領ならびに講演申込み方法および原稿提出の締切期日は前回と同様であります。学術講演希望の方は、つぎの要領をご覧のうえ、1966 年 1 月 15 日(土)までに、学術講演係(札幌市北 12 条西 8 丁目北海道大学工学部土木教室 尾崎 晃教授)あて期日を守って直接お申込み下さい。

総会懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法は 3 月下旬にプログラムで(別送)お知らせいたします。

○行 事 日 程：

1. 通常総会：1966 年 5 月 27 日(金) 14 時～17 時 於日本生命ビル
2. 総合講演会： " 5 月 28 日(土) 9 時～12 時 於北大教養部
3. 学術講演会： " 5 月 28 日(土) 13 時～17 時 "
- " 5 月 29 日(日) 9 時～17 時 "
4. 懇 親 会： " 5 月 28 日(土) 18 時～19 時 30 分 宮の森ガーデン
5. 見 学 会：

- (A) 札幌市内コース 5 月 30 日(月) (3 時間)
- (B) 登別、洞爺コース 5 月 30 日～31 日 登別泊、洞爺駅解散
- (C) 阿 寒 コ ー ス 5 月 29 日夜行～31 日 川湯温泉泊、釧路駅解散

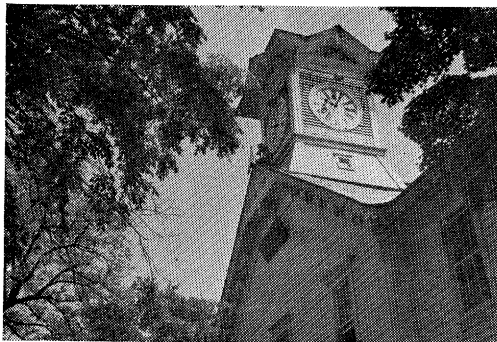
○土木学会第 21 回年次学術講演会実施要領

I 講演要領

- ① 研究発表には、各部門ともできる限り一般報告の方式を採用し、やむを得ない場合に限り著者自らによる個人発表の方式を採用する。
- ② 一般報告の方式は、同じ種別の論文数編ずつを、学会で委嘱した一般報告者が総括して報告し、その後で質疑討論を行なう。この場合の応答には、各著者が自らこれに当り、場合により著者の補足説明を認められる。
- ③ 一般報告に付する論文は、学会で決定し、プログラムにのせる。
- ④ 講演概要の記述にあたっては、一般報告者が、その概要にもとづいて報告することを予想し、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやく書くこと。
- ⑤ 個人発表の方式では、講演時間を 10 分(交代時間を含む)とし、数編の講演後にまとめて質疑討論の時間を設ける。
- ⑥ 講演概要集は 4 月下旬に各参加者に事前送付する。

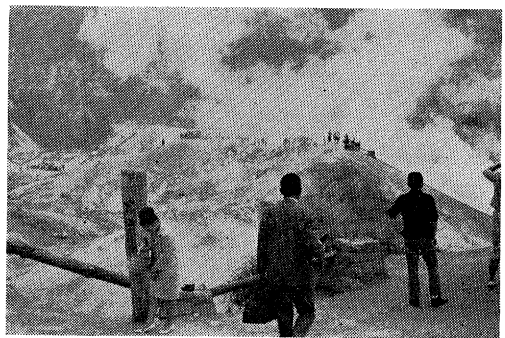
札幌時計台 <Aコース>

札幌市は人口 72 万を数え、全国でもユニークな近代都市美をもち北海道の中心都市である。札幌を象徴する時計台は明治 11 年に建設され、時計がとりつけられたのは明治 14 年であり、アカシヤにかこまれたこの建物は現在市立図書館となっている。



登別地獄谷 <Bコース>

登別温泉は北海道第一の観光温泉であり、開湯は 1857 年で泉質も単純泉、酸性、泉食塩泉、ミョウバン泉等多種である。写真はイオウと熱湯を噴出する地獄谷であり、この上方 300 m の地点には熱湯をたたえる大湯沼、白煙をふくむ日和山、天然記念物の登別原始林などが見られる。



II 講演申込要領

① 講演申込方法

講演希望者は、定められた申込カード（3枚複写）に所定の事項を明記し、必ず200字程度の内容のあらましを書き加え、1月15日（土）までに学術講演係（札幌市北12条西8丁目、北海道大学工学部土木教室 尾崎 晃教授）あて直接申し込むこと。

② 申込カードは各支部に準備しているから、各自の所属支部へ請求されたい。

③ 講演内容は、原則として未発表のもので、1人1題に限る。

④ 講演部門は、つぎの4部門に分ける。ただし都合により本人の諒承を得て希望部門を変えることがある。

第1部門：応力学，構造力学，橋梁等

第2部門：水理，水文学，河川，港湾，海岸，発電水力，衛生工学等

第3部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工等

第4部門：鉄道，道路，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，空港，測量等

⑤ 原稿提出要領

講演申込者はつぎの要領で講演概要の原稿を期日を守って提出すること。

A. 講演概要集は、原稿をそのまま縮写して、オフセット印刷とするので、定められた原稿用紙を用いること。

B. 原稿用紙は執筆要領とともに、各支部に準備しているから、所属支部へ請求すること。

C. 原稿は、2月28日（月）までに、学術講演係（北大工学部土木教室 尾崎 晃教授）あて期日を堅く守って直送すること。

D. 原稿の長さは1題目につき2ページ（図，表，写真とも）を原則とする。特に超過するときは、1ページにつき2000円（製版料）を申受ける。ただし超過は2ページを越えてはならないこと。

E. 講演概要集：講演者（〇印）には、その部門の概要集を無料で1部送付（4月下旬）するが、一般は有料とする。

F. 講演概要の別刷：講演者（〇印）には、20部を無料、それを越える分は有料とし、申込カードにあらかじめ超過希望部数を明示されたいこと。

III 学術講演発表申込み者へのお願い

① 年々発表件数が増加し、当番の講演会係では、プロ編成，同印刷，発送～概要原稿の編集，同印刷発送など一連の作業進行上の期間が最小限に切詰められているので、つぎに再掲する締切期日はくれぐれもお守り下さるよう、係より特にお願いたします。

(A) 学術講演申込カード：必着日 1966年1月15日

(B) 同講演概要の原稿： 同 2月28日

② この締切期日が過ぎてから到着のものは作業進行上全く余裕がないので、残念ながら受理できませんから、あらかじめご了承下さい。

第3回理工学における同位元素研究発表会 —— 論文募集 ——

関係諸学・協会の共同主催で、標記の研究発表会を開催いたします。この研究発表会の目的は、異なった専門分野の研究者が一堂に会し、同位元素および放射線の利用の技術を中心とした研究およびその技術の基礎となる研究の発表と討論を行ない、各専門分野間の知識と技術の交流を図ろうとするものであります。主催学・協会の会員各位におかれてはふるってご応募、ご参加下さることを希望いたします。

1. 会 期：1966年4月19日（火）～21日（木）の予定

2. 会 場：東京大学

3. 共同主催者：土木学会，ほか40学協会

4. 発表論文：

(1) 内 容 それぞれの研究分野において、その専門的成果を得るにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素，放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、得られた専門的成果の報告も差しつかえありません。研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。

(2) 発表申込区分 プログラム編成の便宜上、つぎのように申込区分を設けます。

① 放射性同位元素による放射線照射に関するもの（線源および装置に関するものを含む）

② 放射性同位元素以外の放射線発生装置による放射線照射に関するもの（装置に関するものを含む）

③ ラジオグラフィに関するもの（装置に関するものを含む）

④ オートラジオグラフィに関するもの

- ⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの
- ⑥ 放射線利用機器に関するもの（エネルギー的利用，発光塗料なども含む）
- ⑦ トレーサー的利用に関するもの（安定同位元素も含む）
- ⑧ 分析に関するもの（安定同位元素も含む）
- ⑨ 製造，分離，精製に関するもの（安定同位元素も含む）
- ⑩ 化合物の合成，標識化に関するもの（安定同位元素も含む）
- ⑪ 放射線測定法および測定器に関するもの
- ⑫ 安全取扱いに関するもの（遮蔽，施設，設備，器具，健康管理なども含む）
- ⑬ 廃棄物処理，汚染除去に関するもの
- ⑭ その他

(3) 発表時間 1件の発表 15分以内の予定

- 5. 発表者の資格：土木学会会員および発表申込者が所属する主催学・協会の年会（大会）等の規定または慣例に従う。
- 6. 発表申込：所定の申込書（1件1通）によりお申し込み下さい。所定の申込書は，下記あて請求して下さい。
東京都文京区駒込上富士前町 31 番地（理研内）日本放射性同位元素協会内
理工学における同位元素研究発表会運営委員会 電話 東京 946-7111（代表）
- 7. 発表申込締切：1966年2月28日（月）必着
- 8. 講演要旨：講演要旨集を発行します。発表申込みがあり次第所定の原稿用紙（1200字程度）をお送りします。

日本地震工学シンポジウム(1966年)開催と発表論文の募集

標記シンポジウムは1962年に第1回を開催し，所期の成果をあげることができました。これによって1965年1月ニュージーランドで開催の第3回世界地震工学会議にわが国代表団が世界の期待する研究成果を発表できた素地が築かれたものと信じております。

このシンポジウムは世界会議の中間年に催して，わが国としては繋ぎの研究集会としての大きな意義をもつものになって参りましたので，海外研究者の有志にも参加できるよう門戸を開いて，つぎによる第2回目のシンポジウムを開催し，国内の地震工学研究者，技術者の研鑽と交流および研究情報交換の場に致したいと存じますから，会員各位には下記規定ご参照のうえふるってご応募下さい。

なお，土木学会において毎年開催しております地震工学発表会は1966年は開催いたしませんことを申添えます。

主催：地震学会・土質工学会・土木学会・日本建築学会

(1) 開催予告

- 1) 日時：1966年10月24日（月）～26日（水）の予定
- 2) 場所：東京
- 3) シンポジウムの内容：論文発表およびパネル討論
- 4) パネル討論：特定のテーマについて毎日午後3時頃より行なう（テーマについては後日発表する）。

(2) 発表論文の募集：

- 1) 発表論文の内容：地震工学に関するもの（発表論文は最近の研究に属するものが望ましいが，既発表のものを含んで差し支えない）。
- 2) 応募の方法：
 - a. 論文提出希望者は1966年5月15日までに所属学会，氏名（ローマ字付記），勤務先（英文付記），職名，連絡先を明記の上，邦文約800字または英文約400語の内容梗概を所属学会または今回の幹事会である下記に提出する。
日本建築学会（東京都中央区銀座西3-1）
 - b. シンポジウム運営委員会は発表論文の採否を5月末日までに決定し，すみやかに応募者に通知する。
 - c. 採択された論文著者は1966年7月末日までにつぎの体裁に整えた原稿を所属学会または幹事学会に提出する。

3) 発表論文の体裁：

- a. 用語は日本語または英語とする。
- b. 日本文の場合著者は送付された所定の用紙3枚または5枚（図，表，写真を含めて3枚の場合約4900字，5枚の場合約

8300字)にタイプする。別にタイプ用紙1枚(約500語)にタイプした英文の内容梗概をつける。

- c. 英文の場合は所定用紙4枚または6枚(図,表,写真を含めて4枚の場合約2000語,6枚の場合約3000語)とする。いずれの場合も,前記(1),2)-b.によって執筆者に送付する原稿用紙に添付の執筆要項により,オフセット印刷に適するよう黒色を用いる。

4) 発表論文の取扱い:

- a. 発表論文は前刷としてオフセット印刷し,希望者には実費頒布できるようにする。
 b. シンポジウム後討論その他の補足をオフセット印刷し,前刷の発表論文とあわせてプロシーディングスとする。著者には論文につき別刷30部を贈呈する。

第10回水理講演会開催

◀ 2月18日(金)~19日(土) ▶

1. 期 日:1966年2月18日(金)~19日(土)
2. 会 場:土木学会図書館講堂
3. 課 題:1. 地下水とその流出 3. 乱れに関連する水理学上の諸問題
 2. 土砂輸送と河床変動 4. その他(自由課題)
4. 原稿受付締切:1965年12月20日(月)
5. その他:講演申込みは11月10日に締切りました。
 ○原稿用紙は土木学会に請求して下さい。前刷はタイプ印刷にいたします。
 ○講演会終了後ひきつづいて河川災害および水収支に関するシンポジウムを行ないます。

国際大ダム会議第9回大会へ論文または報文提出について

国際大ダム会議第9回大会は,1967年8月31日よりトルコ国イスタンブール市において開催されますが,この大会に課題論文または自由題報文の提出を希望される方は審査期限が切迫しておりますので至急日本大ダム会議へご連絡下さい。

東北支部行事案内(仙台市北三番丁124 建設省東北地方建設局企画室内 電 仙台 25-2171)

技 術 講 座

◀ 1月21日(金)9.00~ ▶

下記のとおり技術講座を開催いたしますので,土木学会会員および一般土木技術者の方々多数ご参加下さるようご案内いたします。

記

1. 期 日:1966年1月21日(金)9.00~
2. 主 催:土木学会東北支部
3. 会 場:盛岡市自治会館(駅からバス センター行か八幡宮行に乘車,農林中央金庫前下車約10分)
4. 定 員:300名
5. プ ロ グ ラ ム:

9.00~9.10 開会あいさつ	土木学会東北支部長 河上房義
9.10~12.00 アスファルト舗装構造の設計について	KK鹿島道路技術研究所長 遠藤 靖
12.00~13.00 昼 食	
13.00~15.50 不等流の水面計算について	東北大学教授 岩崎敏夫
15.50~16.00 閉会あいさつ	土木学会東北支部長 河上房義
6. 参 加 費:無料
7. テ キ ス ト:当日会場にて実費頒布
8. 宿 泊:盛岡市内に一泊2食付1200~1300円で予約しますので希望の方は1月10日までにハガキで東北支部へお申込み下さい。
9. 申 込:ハガキに住所氏名を明記(連名でもよい)して東北学会東北支部へ1月10日まで申込んで下さい。

関西支部行事案 (大阪市東成区中道元町1丁目149番地
電話 大阪 981-2510 振替口座大阪 82599 番)

(1) 海外事情講演会 ◀1月18日(火) 14.30~16.30▶

1. 場 所: 好文倶楽部集會室 電 大阪 (361) 1261 大阪市北区梅田2 第一生命ビル 12 階, 国鉄大阪駅前
2. 内 容: 万国博に関する講演 3題
3. 聴 講: 無料, 来聴歓迎 この講演会終了後別掲のとおり会員懇親会を催しますから多数ご参加下さい。

(2) 会員懇親会 ◀1月18日(火) 17 時よりの予定(海外事情講演会終了後)▶

1. 場 所: 好文倶楽部会議室 電 大阪 (361) 1261 大阪市北区梅田2 第一生命ビル 12 階 国鉄大阪駅前
2. 参 加 費: 500 円
3. 申 込 期 限: 1966 年 1 月 11 日 (火)
4. 申 込 方 法: 参加希望者は勤務先, 連絡先および氏名を明記のうえ参加費 500 円を添えて 1 月 11 日 (火) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。参加証をお送りします。

(3) シールド工法講演会 ◀1月20日(木) 9.30~17.00▶

共 催: 土木学会関西支部・日本建設機械化協会関西支部

1. 場 所: 大阪府職員会館 2階大講堂 電 大阪 (941) 0351 大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西翼

2. 題目と講師

9.30~9.40	開 会 埃 摺	土木学会関西支部長	玉 井 正 彰
9.40~10.40	①普通シールド工法について	大阪市交通局高速鉄道建設本部建設部第三建設事務所長	早 木 保 則
10.40~11.40	②シールド工法におけるライニングについて	近畿日本鉄道KK難波線建設工事局設計課長	齋 哲 司
12.40~13.40	③機械化シールドについて	京都大学教授 防災研究所 工博	村 山 朔 郎
13.40~14.40	④セグメントの強度試験について	大阪市交通局高速鉄道建設本部建設部第三建設事務所主査	小 林 幸 藏
	⑤関西におけるシールド工事について		
14.50~15.50	⑥大阪地下鉄のシールド工事について	前大阪市交通局高速鉄道建設本部建設部長	岩 村 潔
15.50~16.20	⑦豊中市下水道のシールド工事について	豊中市第一建設事務所長	渋谷 四 郎
16.20~16.55	⑧大阪市下水道のシールド工事について	大阪市土木局下水道建設課長	谷 和 夫
16.55~17.00	閉 会 埃 摺	日本建設機械化協会関西支部長	吉 川 吉 三

3. 定 員: 400 名
4. 参 加 費: 共催学・協会会員 1 000 円 (テキスト代含む), ただし講演会当日は 1 200 円となりますから申込期限内に前納して下さい。
非会員 1 200 円 (テキスト代含む)
5. 申 込 期 限: 1965 年 12 月 25 日 (土)
6. 申 込 方 法: 参加希望者は勤務先, 連絡先, 氏名および所属学・協会名を明記(様式随意)し, 参加費を添えて 12 月 25 日(土)までに下記へお申し込み下さい。
ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申込んで下さい。
参加者には参加証をお送りしますから当日は必ずご持参下さい。
参加証のない人は入場をお断りします。
7. 申 込 先: 大阪市東区谷町 1-50 大手前建設会館内
日本建設機械化協会関西支部 電 大阪 (941) 8845

(付) テキスト頒布について

(土木学会関西支部刊行)

土質改良工法	頒価	600 円	送料	50 円
建設工事と高分子材料	"	400 円	"	60 円
構造工学	"	700 円	"	100 円

(関西橋梁鉄骨溶接研究会刊行)

プレートガーダーの耐荷力に関する理論と実験	"	1 000 円	"	100 円
-----------------------	---	---------	---	-------

上記テキストご希望の方は頒価に送料を添えて土木学会関西支部へお申し込み下さい。

西部支部行事案内 (福岡市舞鶴町1丁目4の1・電福岡 74-1972)

(1) 昭和 40 年度支部総会 ◀ 1 月 28 日 (金) 9.00~ ▶

昭和 40 年度支部総会を下記のとおり開催します。本掲載をもって案内といたしますので会員多数ご出席下さい。

記

1. 日 時: 1966 年 1 月 28 日 (金) 9.00~
2. 場 所: 福岡市福岡大学平和台学舎 (市電またはバス大手門下車南へ 5 分)
3. 備 考: 総会終了後研究発表会を開催いたします。

(2) 研究発表会 ◀ 1 月 28 日 (金) 9.00~16.30 ▶

1. 場 所: 福岡市福岡大学平和台学舎
2. 発表申込: 1965 年 12 月 20 日 (月) までに題名・勤務先・職名・氏名を西部支部あて申込むこと・オフセット原稿用紙を送ります。
3. 原稿提出締切: 1965 年 12 月 25 日 (土) まで
4. 参加料: 無料・論文集代 350 円 (当日払)
5. その他: プログラムは次号に掲載します。

昭和 41 年度科学研究費補助金の公募について

標記の件に関して文部省より連絡がありましたのでお知らせします。なお、公募についての詳細は下記へご連絡下さい。この公募するための計画調書の提出期間については、昭和 40 年 11 月 12 日文部省告示第 201 号で告示されましたので念のためお知らせします。

科学研究費については: 文部省大学学術局研究助成課 (電 東京 581-4211 内線 381)

研究成果刊行費については: 文部省大学学術局情報図書館課 (電 東京 581-4211 内線 393)

8 学会互報欄

◀ 日本機械学会 (東京都港区赤坂一ツ木町 89 電 東京 582-6911)

連続濾過に関する講演会 (1 月 20 日・13.00~, 日本化学会講堂)

宇宙技術講演会 (1 月 28~29 日, 日本化学会講堂)

空調和と冷凍装置に関する講習会 (2 月 23~24 日 9.00~, 日本化学会講堂, 会費; 2 000 円)

国際会議のお知らせ

トルコ土木技術者会議からつぎの会議に当学会会員の多数参加を希望した案内状が届きました。詳細は事務局に照会して下さい。

記

- 会 議 名: The Third Technical Congress of Turkish Civil Engineering Questions
期 日: 1966 年 9 月 26 日~10 月 3 日
題 目: 上部構造, 水工, 交通構造, 土構造
場 所: アアンカラ所在 建設省会議場その他
参 加 費: 160 TL 同伴の夫人 40 TL